

平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 7 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日まで)

(会の目的)

100 年先も子どもたちが幸せであることが最大の目的。まず東日本大震災で未だ元の生活に戻れていない福島の子どものための応援を続けることで、日本の子どもたちの幸せの一助となることが会の目的である

(事業計画)

1・福島県の子どもたちを応援する

1. 今年度から「短期母子留学制度」をミナソラの単独事業として実施する。東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能に汚染され未だ外遊びが制限されている福島県の幼稚園児とその母親を京都に招待し、心身ともにリフレッシュしてもらう。
福島県私立幼稚園認定こども園連合会と連携し、対象地域を福島県全県に拡大する。
受け入れ幼稚園は大原野幼稚園と洛西花園幼稚園を増やし、受け入れ家族も 4 家族を予定。
実施に向けて地域、企業などとの連携を強化する。そのための資金調達方法として、ミナソラノシタオリジナルグッズを販売し、その収益の一部を寄付として積み立てる。
2. 郡山市の幼稚園にハンドソープや石鹸を寄贈する。

2・東日本大震災を忘れない啓発活動を行う

1. 福島の現状を知るための講演会を開催する（1 回/年）。
2. 地域の祭りやイベントに出展し、オリジナルグッズ販売とともに会の PR 活動を行う（随時）。
3. 地域の企業や金融機関と協働して、チャリティコンサートを行い、その収益を「福島こども応援基金」に積み立てる。

3・福島と京都のご縁を紡ぐ

1. 福島へ出張し、現地のお母さん方との交流会を開催する。
2. 福島のお母さんと京都のお母さんとの交流会を開催する。
3. どんぐり拾いイベントを実施し、拾ったどんぐりを福島の幼稚園に贈る。

4・定例会の開催

上記を達成するために月一回の定例会を開催する。

以上